

# **第1部：平成29年9月期 決算概要**

# 平成29年9月期 決算概要（単体・連結）

## ■ 単体

（単位：億円）

No	計算式	28年 9月期	29年 9月期	増 減 (前年同期比)
1	業務粗利益 [3+4+5]	344	285	△59
2	(コア業務粗利益) [1-6]	(317)	(279)	(△38)
3	資金利益	280	239	△41
4	役務取引等利益	25	38	13
5	その他業務利益	38	8	△30
6	うち国債等債券損益	26	6	△20
7	経費	259	252	△7
8	人件費	144	140	△4
9	物件費	98	95	△3
10	税金	16	16	0
11	実質業務純益 [1-7]	84	33	△51
12	コア業務純益 [2-7]	57	26	△31
13	業務純益 [11-15]	85	33	△52
14	与信関係費用 [15+16-17-18-19]	9	△11	△20
15	一般貸倒引当金繰入額	△0	-	0
16	不良債権処理額	10	1	△9
17	貸倒引当金戻入益	-	12	12
18	償却債権取立益	0	0	0
19	偶発損失引当金戻入益	-	-	-
20	株式等関係損益	△0	12	12
21	その他臨時損益	12	4	△8
22	金銭の信託運用見合費用	0	0	0
23	経常利益 [11-14+20+21-22]	86	62	△24
24	特別損益	△1	△2	△1
25	税引前中間純利益 [23+24]	85	60	△25
26	法人税等合計	23	13	△10
27	中間純利益 [25-26]	61	46	△15

## ■ 連結

29年 9月期
317
(310)
239
59
18
6
273

43
37
43
△11
-
1
12
0
-
12
4
0
72
△2
70
17
※49

### 業務粗利益増減の内訳

国内業務粗利益 △348百万円  
 （うち資金利益に計上した  
 投資信託解約損益 △977百万円）  
 ⇒特殊要因除き +629百万円  
 国際業務粗利益 △5,476百万円

### 単体決算の概要

#### ■ 業務粗利益

「役務取引等利益」が増加したものの、「資金利益」および「国債等債券損益」が減少したことから減益となった。

#### ■ 経常利益

「与信関係費用」が減少し、「株式等関係損益」が増加したものの、前年同期比△24億円の62億円となった。

#### ■ 中間純利益

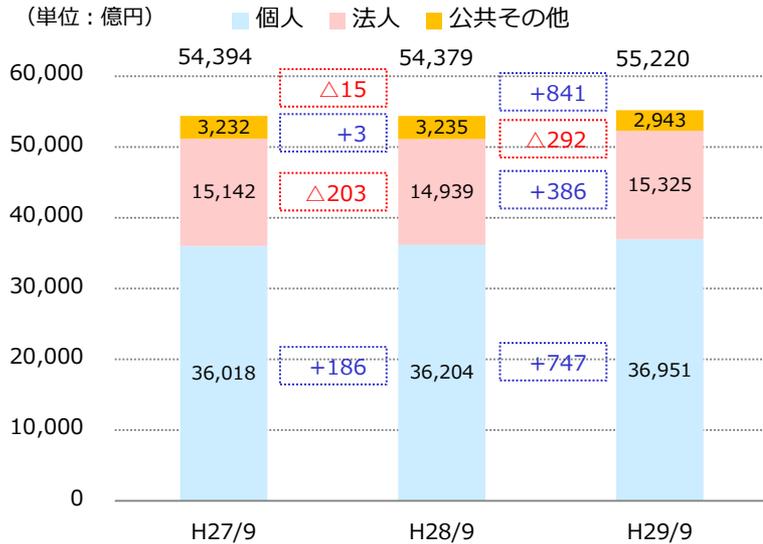
中間純利益は前年同期比△15億円の46億円となった。

※親会社株主に帰属する中間純利益

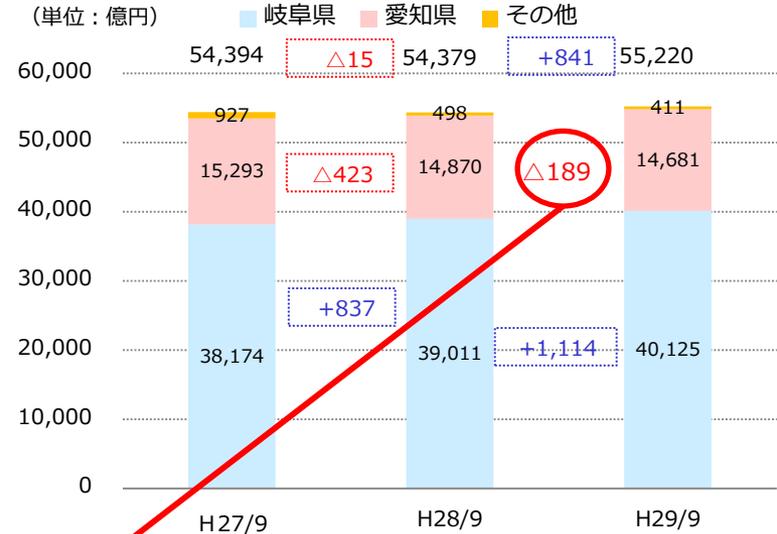
# 主要計数（預金等）

預金等残高は前年同期比841億円の増加（1.5%増）、月中平均利率は0.028%に低下

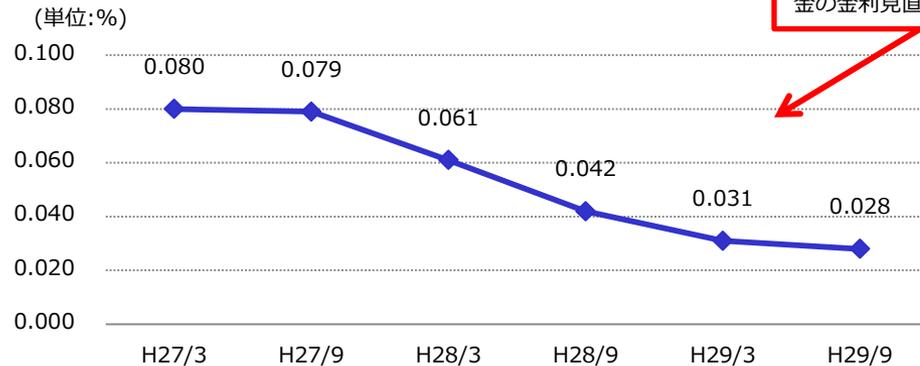
## ■ 預金等残高の推移（人格別）



## ■ 預金等残高の推移（地域別）



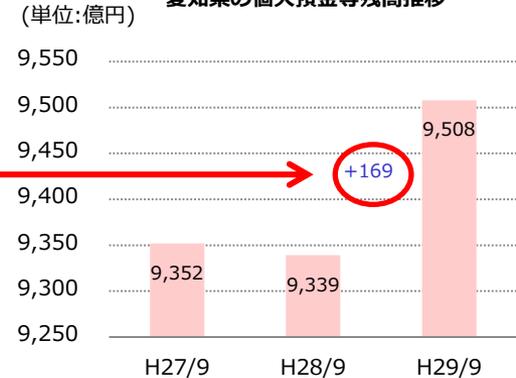
## ■ 円貨預金月中平均利率の推移



愛知県の預金減少は、調達コスト抑制を目的とした法人大口定期預金の金利見直しなどによる

一方、個人預金は増加

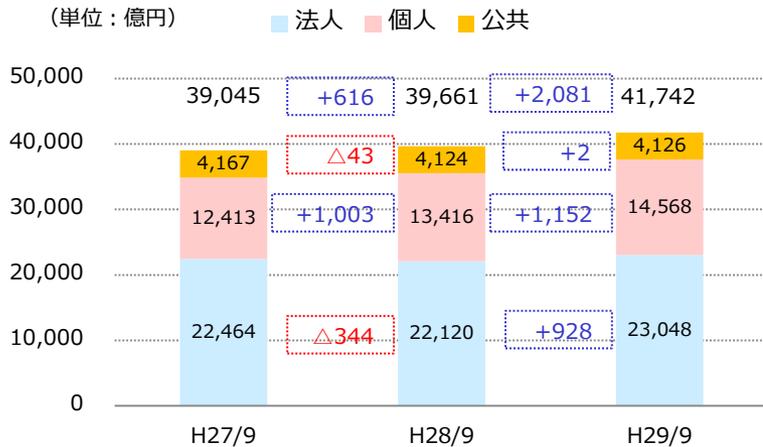
## 愛知県の個人預金等残高推移



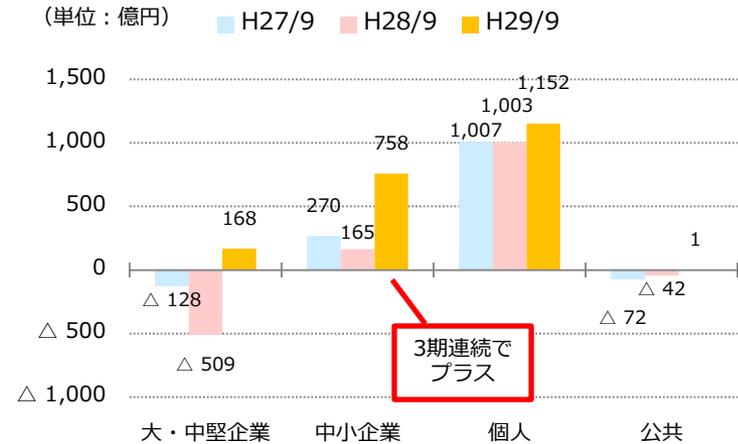
# 主要計数（貸出金）

中小企業向け貸出金の増加幅が拡大、地域別でも岐阜県・愛知県ともに増加率が加速

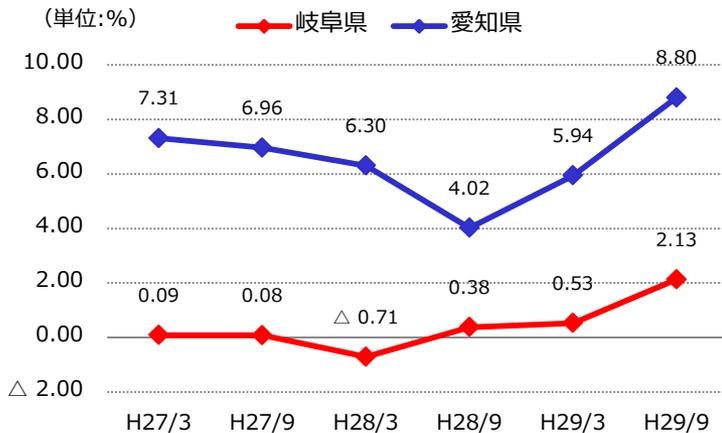
## ■ 貸出金残高の推移（人格別）



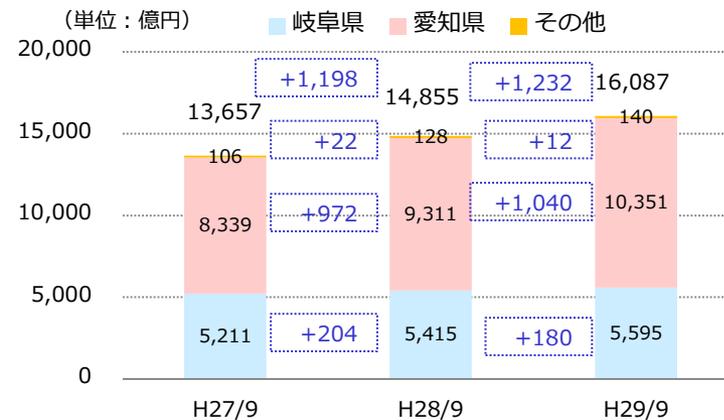
## ■ 企業規模別残高増減額



## ■ 地域別貸出金残高増減率



## ■ 住宅ローン地域別残高推移

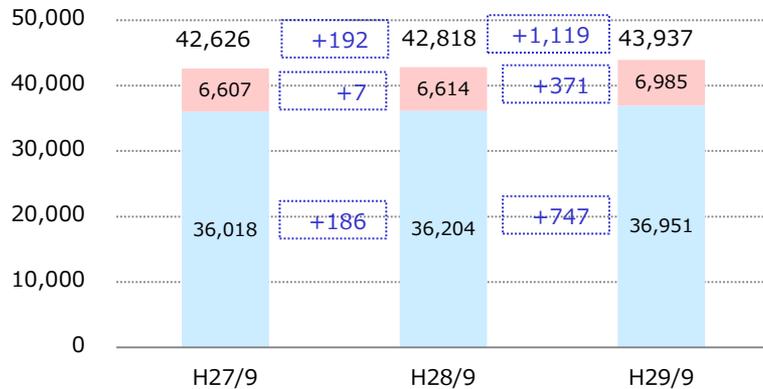


# 主要計数（役務取引等利益）

個人預り資産残高は堅調に増加、役務取引等利益は増加に転じる

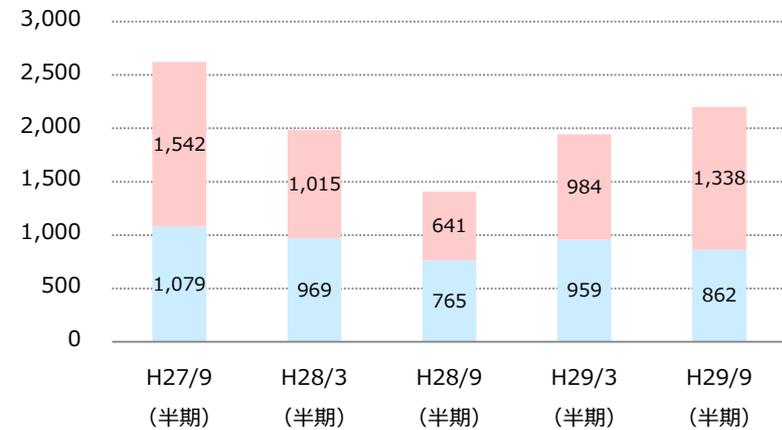
## ■ 個人預り資産残高の推移

(単位:億円) ■ 個人預金残高 ■ その他預り資産残高



## ■ 投信関係・保険関係手数料の推移

(単位:百万円) ■ 投信関係手数料 ■ 保険関係手数料



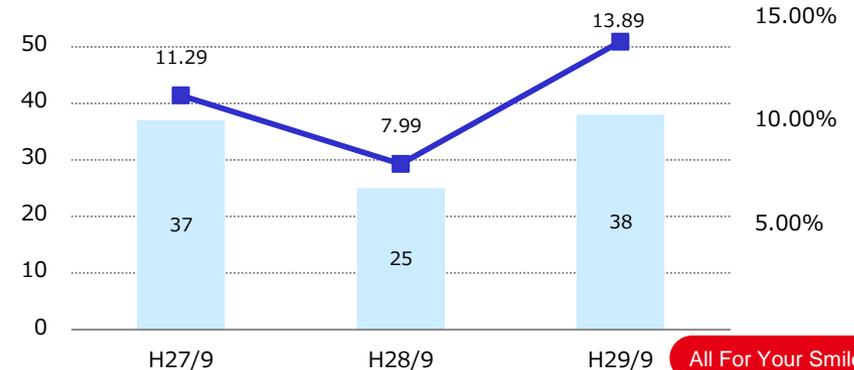
## ■ その他預り資産残高の推移

(単位:億円)

	H27/9	H28/9	H29/9	前年同期比
	(A)	(B)	(C)	(C)-(B)
投資信託	1,745	1,672	1,594	△78
個人年金保険等	4,542	4,774	5,218	444
公共債	319	166	172	6
合計	6,607	6,614	6,985	371

## ■ 役務取引等利益の推移

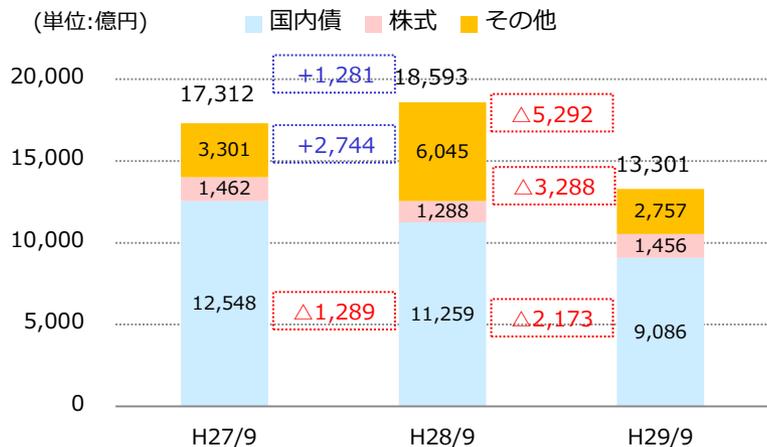
(単位:億円) ■ 役務取引等利益 ■ コア業務粗利益に占める割合



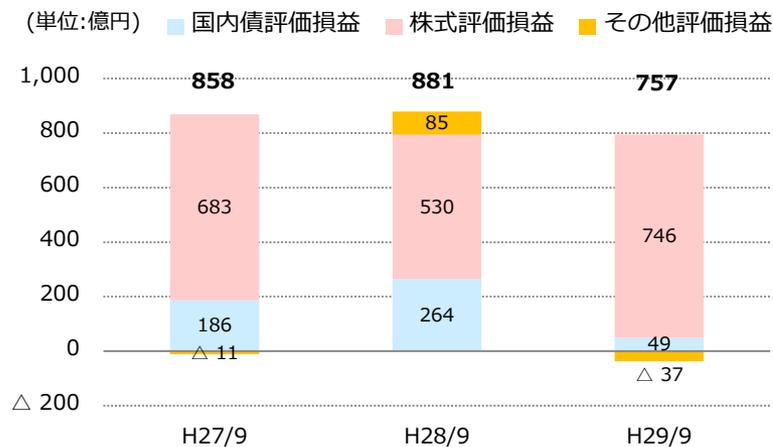
# 主要計数（有価証券）

国内の長期債と外債を売却したことから有価証券残高は減少

## ■ 有価証券残高の推移



## ■ 有価証券の評価損益

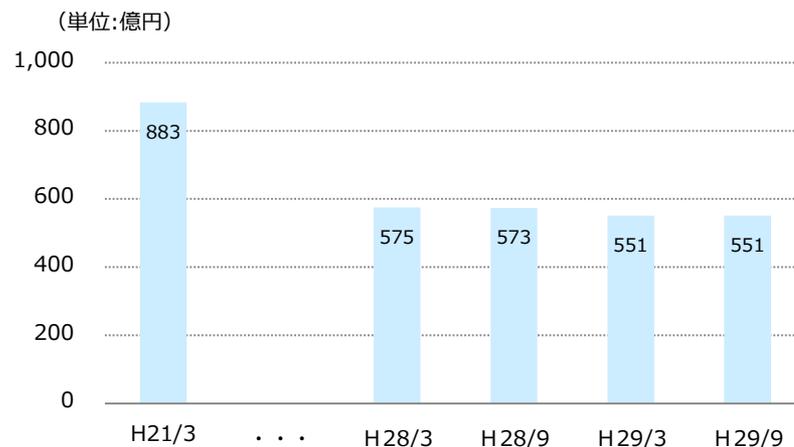


## ■ 有価証券関係損益

(単位:百万円)

	H28/9	H29/9	増減
<b>国債等債券損益</b>	<b>2,679</b>	<b>664</b>	<b>△2,015</b>
うち国債等債券売却益	2,848	1,614	△1,234
うち国債等債券償還益	6	7	1
うち国債等債券売却損 (△)	171	813	642
うち国債等債券償還損等 (△)	4	142	138
<b>株式等関係損益</b>	<b>△10</b>	<b>1,252</b>	<b>1,262</b>
うち株式等売却益	790	1,442	652
うち株式等売却損 (△)	752	83	△669
うち株式等償却 (△)	47	106	59

## ■ 政策投資株式の残高推移（簿価ベース）



# 与信関係費用・不良債権額

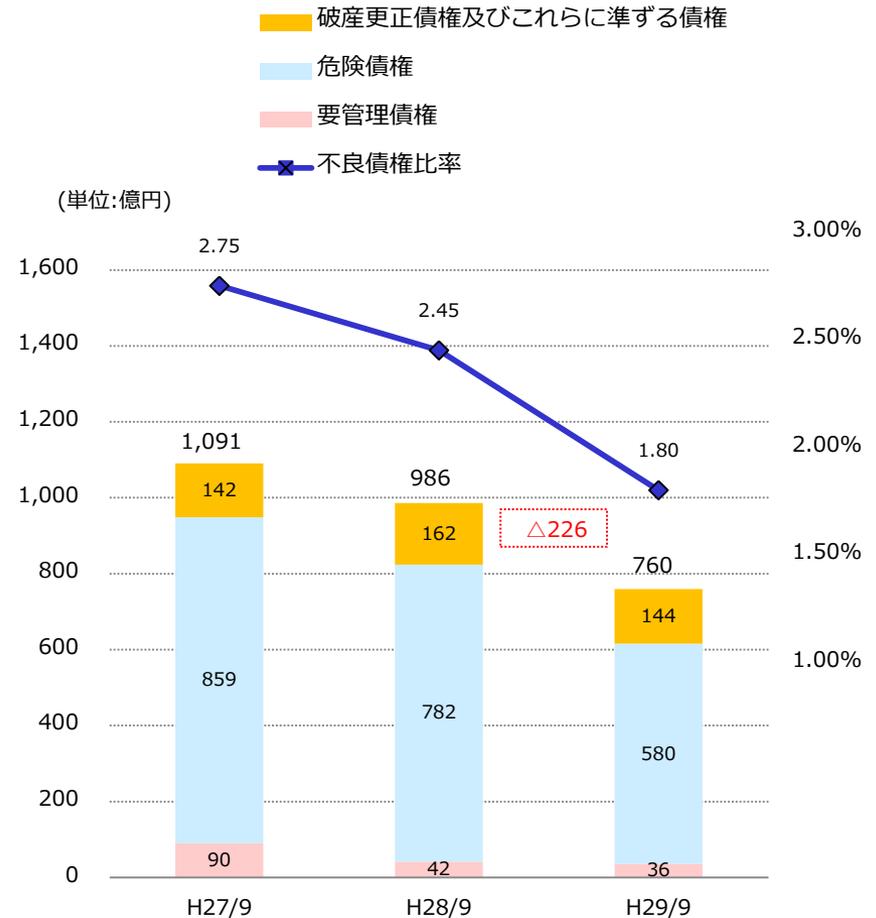
与信関係費用は低位で推移、平成29年9月末の不良債権比率は1.80%まで低下

## ■ 与信関係費用の推移

(単位:億円)

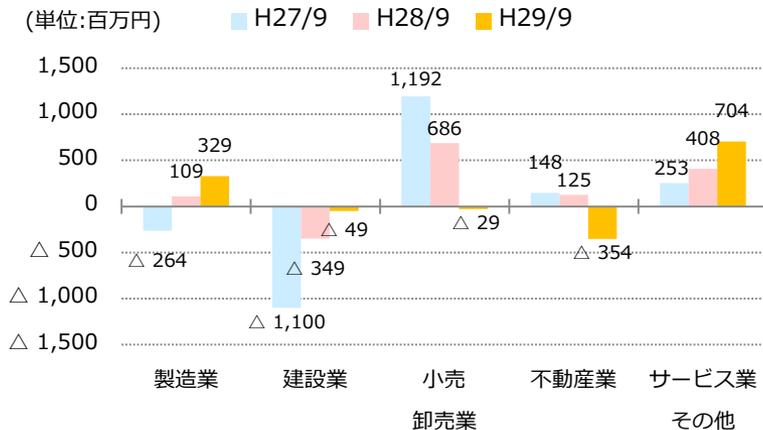
	H27/9	H28/9	H29/9
与信関係費用(①+②-③-④-⑤)	△8	9	△11
①一般貸倒引当金繰入額(△戻入益)	-	△0	-
②不良債権処理額	1	10	1
貸出金償却	-	-	-
個別貸倒引当金繰入額	-	6	-
バルクセール売却損	1	3	0
その他	0	0	1
③貸倒引当金戻入益	9	-	12
④償却債権取立益	0	0	0
⑤偶発損失引当金戻入益	-	-	-

## ■ 不良債権額の推移 (金融再生法ベース)



## ■ 業種別の不良債権処理額

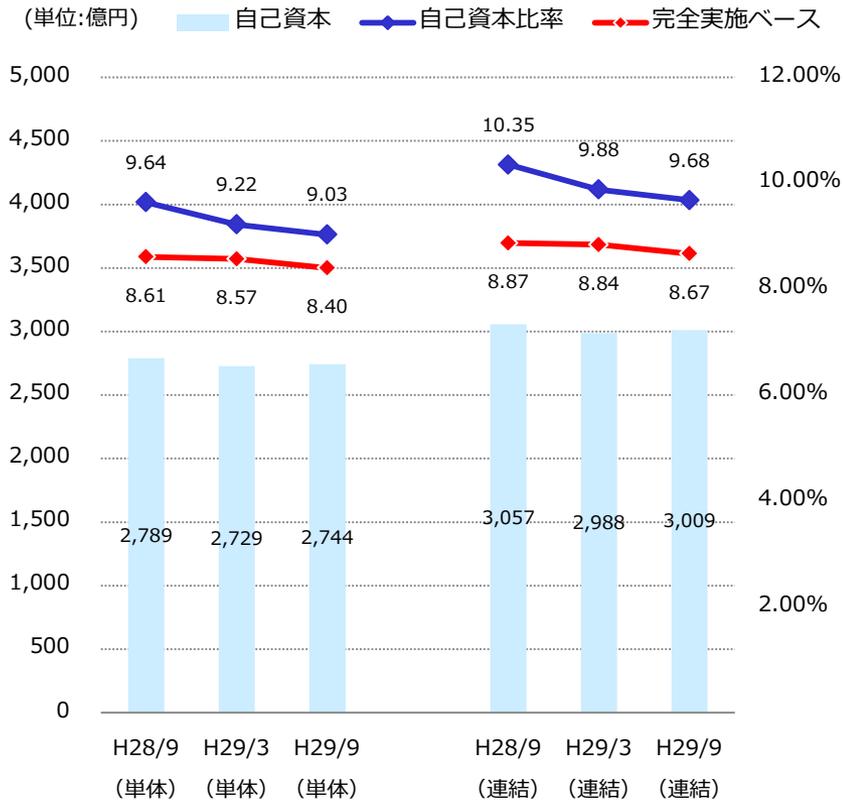
(単位:百万円)



# 資本政策

自己資本比率は単体で9.03%、連結で9.68%

## ■ 自己資本の推移



## ■ 資本の質の向上



平成29年12月に劣後調達100億円を期限前償還  
劣後調達完済により資本の質が向上

# 第14次中期経営計画の進捗状況

## ■平成32年3月期に目指す計数目標

項目		計画スタート時 (29年3月期実績)	29年9月期 実績	計画最終年度 (32年3月期目標)
収益性	当期純利益（連結）	100億円	49億円	100億円
成長性 (顧客基盤)	地域プレゼンス（預金等平残+貸出金平残）	9兆3,501億円	9兆5,681億円	10兆円
	うち預金等平残	5兆4,108億円	5兆5,072億円	5兆7,000億円
	うち貸出金平残	3兆9,393億円	4兆609億円	4兆3,000億円
健全性	自己資本比率（連結）完全実施ベース	8.84%	8.67%	8.7%程度

## ■長期的に目指す目標

項目		計画スタート時 (29年3月期実績)	29年9月期 実績	目標
収益性	ROE（連結）	3.0%	2.86%	5%以上

# 平成30年3月期 業績予想（単体・連結）

## ■ 単体

（単位：億円）

No	計算式	29年 3月期 （実績）	30年 3月期 （予想）	増 減 （前期比）
1	業務粗利益 [3+4+5]	567	<b>578</b>	11
2	（コア業務粗利益） [1-6]	(616)	<b>(568)</b>	△48
3	資金利益	550	<b>483</b>	△67
4	役員取引等利益	56	<b>81</b>	25
5	その他業務利益	△39	<b>14</b>	53
6	うち国債等債券損益	△49	<b>10</b>	59
7	経費	511	<b>488</b>	△23
8	人件費	285	<b>274</b>	△11
9	物件費	197	<b>186</b>	△11
10	税金	28	<b>28</b>	0
11	実質業務純益 [1-7]	55	<b>90</b>	35
12	コア業務純益 [2-7]	105	<b>80</b>	△25
13	業務純益 [11-15]	55	<b>90</b>	35
14	与信関係費用 [15+16-17-18-19]	△28	<b>△4</b>	24
15	一般貸倒引当金繰入額	-	-	-
16	不良債権処理額	8	<b>3</b>	△5
17	貸倒引当金戻入益	37	<b>7</b>	△30
18	償却債権取立益	0	<b>0</b>	0
19	偶発損失引当金戻入益	-	-	-
20	株式等関係損益	27	<b>19</b>	△8
21	その他臨時損益	8	<b>7</b>	△1
22	金銭の信託運用見合費用	0	<b>0</b>	0
23	経常利益 [11-14+20+21-22]	119	<b>120</b>	1
24	特別損益	△2	<b>△2</b>	0
25	税引前当期純利益 [23+24]	117	<b>118</b>	1
26	法人税等合計	26	<b>33</b>	7
27	当期純利益 [25-26]	91	<b>85</b>	△6

## ■ 連結

30年  
3月期  
（予想）

### 通期業績予想

#### ■ 単体

経常利益 120億円

当期純利益 85億円

業務改革推進により経費23億円削減

#### ■ 連結

経常利益 135億円

親会社株主に帰属  
する当期純利益 90億円

**135**

**※90**

※親会社株主に帰属する当期純利益